



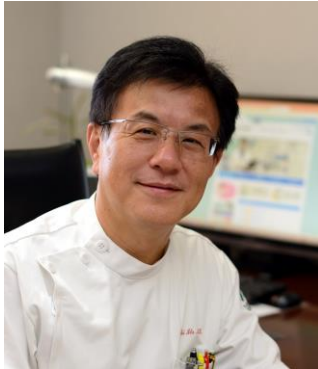
Dai I NAIKA News

平成 26 年 8 月 6 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報誌【第 13 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

ごあいさつ



伊藤 正明

先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、三重大学医学部附属病院へのご支援を賜りまして有難うございます。また、第一内科が担当しております、総合内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓内科につきましても、先生方と連携を通じて、診療を行わせて頂いておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

少し大学病院について思うことを述べさせていただきます。税と社会保障の一体改革が進められ、大学病院は高度急性期医療としての役割を担い、国民・県民の期待、先生方からのご要望にお応えしていかななくてはならない時代です。このことを進めるには、先生方とのよりしっかりとした連携が最も大切だと考えています。先生方との連携を表す指標として、紹介率、逆紹介率があります。三重大学病院における現在の紹介率は約 80%弱、逆紹介率は 40%強で、さらなる紹介率の向上も大切ですが、逆紹介率を上げる方向での先生方との連携も急務だと思っています。大病院では紹介状を持たない患者さんの外来初診料を自己負担とした上にその料金を上げることや再診料の自己負担も検討されていると聞いており、この方向は日本全体のものとして認識しています。大学病院に受診していただく理由のある患者さんが必要な時期に受診され、その後は地域でフォローされていくシステムの構築を、よりしっかりとしていく必要が

あります。また、DPC の機能評価係数Ⅱを見てみますと、三重大学病院は複雑性係数が 0、救急医療係数も他施設と比較して低い状況です。このことから高度救急病院として、より重症な救急疾患（特に 3 次救急）に的確に対応できる体制が必要で、看護師確保のもと救命救急センターの拡充、時間外手術への対応を今後強化していくことも急務だと思っています。

第一内科としましても、先生方に大学病院での診療内容をご紹介します、さらなる病診・病病連携をお願いできるよう、“梅檀の会”と題した勉強会を今年より開催しています。次回は 10 月 23 日（木）、県文化センターで予定しておりますので、お時間が許しましたら是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。

さて、大学病院ですが、新外来・診療棟が今年の年末に完成し、来年 5 月 7 日よりオープンします。外来診察室は現在の 96 室から 131 室、ハイブリッド手術室を含め 4 手術室の増設、高度生殖医療センターの新設、外来化学療法部の拡充など、病院機能がさらに高まり、県民および先生方のご期待により応えられる大学病院になっていけるものと思っています。外来の患者さんにも、採血、診察や事務処理にかかる時間がまだまだ長くかかるなど、ご迷惑をおかけしている現状もありますので、これらのソフト面も改善していきたいと考えています。

第一内科スタッフ一同、先生方の診療にお役にたて、市民県民の健康向上に、より寄与できるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくようお願い申し上げます。

循環器内科 科長ならびに第一内科 医局長 就任のご挨拶

この度、平成 25 年 10 月より三重大学医学部附属病院循環器内科 科長を、平成 26 年 4 月より第一内科 医局長を拝命いたしましたので、ご挨拶申し上げます。私自身の経歴といたしましては、平成元年に三重大学医学部を卒業後、直ちに第一内科に入局させていただきました。三重大学病院での約 1 年間の研修後、遠山病院、山田赤十字病院、茅ヶ崎徳洲会病院、中勢総合病院、米国ペイラー大学でお世話になり、その後、



山田 典一

平成 5 年から現在に至るまでの 21 年間、三重大学にて勤務し、中野赴前教授、伊藤正明現教授のご指導のもと、主に肺循環障害ならびに静脈血栓塞栓症の臨床研究に従事して参りました。今回、循環器内科科長を務めるようにとのお話を頂きました当初はたいへん驚きましたが、皆様ご存じの通り、伊藤教授が三重大学医学部附属病院長に就任され、お仕事が多忙を極めることは必至であり、微力ではありますが少しでもお役に立てるならと、謹んでお引き受けいたしました。お引き受けしたからは、医局員が臨床や研究に励めるような環

境作り、さらに新しい仲間を増やすべく力を尽くしていくつもりです。

大学病院は専門医、指導医の多さや最先端の診断機器を有するといった環境からも、診断や治療に難渋する患者さんや希少疾患の病態を十分に掘り下げて追求解明し、おのおの患者さんに最適な治療を提供できる最も適した病院であると自負しております。しかし、多くの患者さんをご紹介いただいて初めて我々の経験や技術も向上するわけでした、皆様方のご協力がなければ当然のことながら成り立ちません。現在、定期的に開催しております病診連携の会（梅檀の会）などを通じて、これからも先生方との関係を密にし、これまで以上に、医療情報交換や患者さんのご紹介がスムーズに行えるように努力させていただきたいと考えております。時には早期入院の受け入れがかなわず、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、可能な限り、迅速なる対応を心がけていく所存です。もし、診断、治療にお困りの患者さんがみえましたら、外来受診や入院依頼、ご相談だけでも結構です、次ページに記載しております連絡先まで、どうぞお気軽にご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

ワンポイントレクチャー

E型肝炎あれこれ



為田雅彦

今回のワンポイントレクチャーは近年話題になることの多いE型肝炎についてお話させていただきます。これまでE型肝炎は衛生環境の悪い地域からの稀な輸入感染症と位置づけられていました。しかし他のウイルス性肝炎と異なり、ヒト以外のシカやイノシシなどの動物にも感染し、感染動物の肉を摂取したことで発症する事例が報告されるようになりました。その結果、

E型肝炎が動物由来感染を来す肝炎として認識があらためられるようになりました。

E型肝炎はHEVウイルスへの感染後に2~9週の潜伏期を経て発症し、一過性の経過を示し、通常は持続感染や慢性化することはありません。また多くの症例は不顕性感染を示し、急性肝炎を発症するのは感染者のうち約0.1%と推定されています。感染源は多くの症例で不明ですが、生肉の摂取との因果関係が認められた症例も存在します。HEVウイルスは70℃以上の熱を10分以上加えることで不活化するとされており、豚、イノシシ、シカ肉においては十分な加熱調理が感染予防に重要と考えられます。

さて、このようなE型肝炎ですが、診断のために必要な検査は最近まで保険適用がありませんでした。2011年10月によくよく認可されたIgA-HE抗体価キットにおいて初めて保険診療として他の肝炎検査と共に測定を行うことができるようになりました。今後、原因不明の急性肝炎に出会った際には、E型肝炎の抗体価測定も御検討いただければ幸いです。

Pickup



森脇啓至

津市(旧久居市)出身で、高田高校を経て三重大学医学部卒業しました。初期研修からずっと伊勢赤十字病院に勤務しておりました。このたび4月から三重大学病院へ転勤となりました。2か月ほど経ちますが、まだまだ慣れないことが多くて目の前の仕事をこなすことでいっぱい입니다。今後は、忙しい日々の中にも、ちょっとしたゆとりを大切にしながら日々の診療、研究を行っていきたく思っております。よろしくお願いいたします。

先生方におかれましては益々御清栄のことと御慶び申し上げます。

今年度より三重大学病院に赴任しました大森拓と申します。平成21年に三重大学を卒業、市立四日市病院での初期研修後、後期研修医として3年間鈴鹿中央病院でお世話になりました。循環器疾患についての知識や研鑽を深めたいと考え、今年4月から大学院1年生として母校でお世話になっております。

先生方にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと存じ上げますが、御指導いただきながら日々診療、勉学に励んで参りたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



大森 拓

~お知らせ~

●市民公開講座~あなたのハートは大丈夫?~

日時: 9月20日(土) 13:30~開場 14:00~講演会

場所: 鈴鹿市文化会館

詳細は第一内科ホームページに掲載予定です。

●第一内科外来担当がリニューアルされました。(8月~)

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田 岡本 山本	後藤	石川 田辺 萩原	中村 杉本(和)	熊谷 谷村
	初診	山田 岡本 佐藤	藤田 後藤	田辺 萩原	中村 藤井 武内	熊谷 谷村
循環器	再診	藤本(直),増田 中森/土肥 PM 外来 香川	杉浦(美)	岡本	澤井 松田	山田 藤井 土肥
	初診	藤本(美)	休診	石川	村田	伊藤(貴)
腎臓	再診	石川	休診	休診	休診	村田
	初診	山本			白木	
消化器・肝臓	再診	白木 杉本(和)		山本	杉本(和)	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火、木曜日の外来(担当: 藤田、藤井)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
PM 外来=ペースメーカー外来(1,2,3週のみ)

●第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed1/>

●ドクターたちのひとりごとブログ「第一内科 Café」

<http://ameblo.jp/miedainai/>

●三重大学病院循環器内科、腎臓内科

~患者様をご紹介ください~

1 FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要な事項を御記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来: 059-231-5146 病棟: 059-231-5101

F A X: 059-231-5518 研究棟: 059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。

naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

